



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/



ワシントン日本語学校事務局

HOT LINE (301)962-7415

Phone (301)962-7410

FAX (301)962-7411

『百万一心』の思い

校長 三原 洋一

私の出身地である山口県には、いくつかの市役所や学校などに、写真のような「百万一心」と刻まれた石碑が建てられています。この「百万一心」の文字の由来は、次のように伝えられています。



今から450年ほど前、毛利元就は、毛利の本家をついで郡山に入城した。郡山城はせまくて不便だったので、まもなく城を大きく建て増すことになった。建て増しの工事は難航した。本丸の石垣が、築いても築いても崩れてしまうのだ。

そんなことが何度か繰り返されるうち、人柱を立てねばなるまいという話が、家来たちの間にささやかれるようになっていった。そのころは、城や橋などのわずかしい工事には、人柱といって生きた人間を工事現場の土の中にうめて、神の怒りを静め、工事の成功を祈ることが行なわれていた。

その話を聞いた元就は、「城の石垣を固めるために、人を生き埋めにしなければならぬとは、あまりにも残酷だ。人の命は、そんなに軽々しく扱うものではない。城が固く強く築かれるのは、人びとが助け合ってこそできるものである。人柱よりも人びとが心を一つ

に合わせることのほうが大切である。」と、家来たちに話し、紙に「百万一心」という字を書いた。

そして、この字を、幅約二尺、長さ約六尺の石に彫り込ませてうめ、人柱に代えたということである。「百万一心」の四つの文字の意味は、「みんなが力を一つにし、一つの心になってやれば、どんな難しいことでもできないことはない。」という意味であったといわれている。(「一日一カー心」とも読まれる。)

この人柱にかわる「百万一心」の教えは、元就が亡くなった後も、長く毛利氏に受け継がれた。毛利氏が安芸(広島県)から移ってくると、周防・長門(山口県)にも広



くひろまっていた。山口県の各地に「百万一心」の石碑が建てられているのも、この古いいわれが広められたことを物語っている。

出典「山口の伝説」(1978・山口県小学校教育研究会国語部編)

先日の運動会では、生徒たちが見事な活躍を見せてくれました。「百万一心」の精神……「みんなが力を一つにし、一つの心で取り組めば、どんなに難しいことでも成し遂げられる」という思いを、生徒たちがこの運動会を通じて体現してくれたと感じました。競技に挑む姿勢、仲間と協力し合う姿、そして最後まで諦めず全力を尽くす姿……まさに「百万一心」の精神が運動場に広がっていました。8年ぶりの勝利を収めた白組も、惜しくも敗れた赤組も、それぞれが全力を尽くし、



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

仲間とともに切磋琢磨する姿には深い感銘を受けました。このアメリカの地で、出会うべくして出会った 539 人の絆を大切にし、仲間一人ひとりが、和を持って接し、協力することの大切さを改めて感じたのではないのでしょうか。この経験が、今後の日々の学びや生活において、さらなる成長を促すことを心から願っています。

次週号から、2週にわたって生徒の運動会の感想を紹介します。



聖心ストーンリッジ校の訪問

本年度、聖心ストーンリッジ校と、今後5年間の校舎借用契約を更新することができました。そこで、先日、事務局員と、栗原管理運営委員会委員長で、校舎を借用している聖心ストーンリッジ校に、お礼を兼ねてご挨拶に伺いました。当日は、校長先生はじめ、事務主任、用務主任、警備長等、主要メンバーにお集まりいただいて、お話をすることができました。



常々、聖心ストーンリッジ校の皆様には、本校に対して、深いご理解と多大なるご協力をいただいています。今後も、この良好な関係を維持しながら、より良い教育環境を創ってまいりたいと考えています。

ビブリオバトル表彰式 9/14

中学部、高等部でのビブリオバトルの取組を、今年は、小学部6年生も対象に実施しました。



ビブリオバトルとは、生徒が自分のおすすめの本をそれぞれ紹介し、どの本が一番読みたくなるかを投票して決める書評大会です。今年で3年目となる本校生徒の学力向上のために欠かせない取組となっています。今年のクラスチャンピオンを以下に紹介します。



小6A ワイズ凜生さん「N」
小6B リー 花奈さん「変な家」
小6C マーティン 世里奈さん
「世界の美しい街の美しいネコ」

中1A 大坂 美月さん「変な家2」
中1B ジャコブソン晴樹さん
「掟上今日子の備忘録」

中2A 山岸 雄治さん
「向日葵の咲かない夏」

中2B 山口 雅敬さん「1リットルの涙」
中3A 八代 幸司さん

「10年後に食える仕事食えない仕事」
中3B 今井 航希さん「死者の学園祭」
高1 河野 永虎さん「カラスの親指」
高2 ロイド太陽さん
「アルジャーノンに花束を」

